



令和7年度

新発田市立猿橋小学校（瑳玖良校）グランドデザイン

教育目標

つながり 高め合い みんなでつくる 瑳玖良校
～ともに きらきら かがやこう～

育む5つの資質・能力—めざす子どもの姿

分かる・できるを実感する力

学んだことや経験したことを振り返り、自分で得た学びを自覚し、自分のものにする子ども

かかわる力

積極的にいろいろな人とかわり、思いや考えを聞いたり、伝え合ったりする子ども

つくり出す力

これまでの学びや経験を基に、新たな情報を得たり、他者と協力したりしながら、よりよい考えを形にする子ども

思いやる力

他者との違いを認め、相手の気持ちを考えて行動できる子ども

やり遂げる力

自ら進んで自分の成長のために目標を決め、目標に向かって最後までやり遂げる子ども

重点目標

《知育》

- ・他者とかかわり、自分の思いや考えを伝えることができる子どもを育てる。
- ・学んだことを振り返り、身に付けたことを自覚することができる力を育てる。

《徳育》

- ・他者とのつながりを意識し、親切にしたり、思いやったりすることができる子どもを育てる。
- ・誰とでも仲良く協力し、助け合うことができる集団を育てる。

《体育》

- ・自分でめあてを決め、進んで運動や生活改善に取り組む態度を育てる。
- ・活動を振り返り、身に付けた技能や記録の伸びを実感できる子どもを育てる。

主な教育活動と成果目標

生きて働く学力の定着

- 仲間と対話しながら、自らの学びを自覚することができる授業の実施
- UDLの視点を生かした学習環境整備と授業づくり及び「学習の3原則」と「たいわ」に基づいた学習規律の確立
- 家庭学習の習慣化

思いやりの心と社会性の育成

- つながりマナー（③んづけ、③ールを守る、③いいと返事、③ずかに聞く）を身に付けさせるための授業や集会活動等の実施
- かかわる同和教育を土台にした、他者のよさや違いを認め合う人間関係づくり
- 児童の発想や主体性を生かした挨拶習慣化の取組の実施

自ら運動や生活改善に取り組む態度の育成

- 体力向上に向けた基礎的な技能の育成と自らの学びを実感できる授業の実施
- 運動する楽しさや喜びを体感できる場の設定と評価方法の工夫
- 基本的生活習慣の確立に向けた保健指導・栄養指導、家庭と連携した元気アップ週間の実施

- ・自分の学びや気づきを振り返り、記述することができる児童の割合を80%以上にする。（分かる・できるを実感する力）
- ・「学習の3原則（3つのやくそく）」及び「たいわ」が「よくできた（できた）」と振り返る肯定的評価の割合を80%以上にする。（かかわる力）
- ・学年×10分の家庭学習が習慣化し、宿題を毎日提出する児童の割合を80%以上にする。（やり遂げる力）

- ・みんなに親切にしたり、思いやったりすることを目指して、つながりマナーを守っている児童の割合を児童評価で80%以上、職員評価で80%以上にする。（思いやる力）
- ・いじめをしない、見逃さないで学校生活を送っている児童を90%以上にする。（かかわる力）
- ・学校、家庭、地域で進んで挨拶している児童の割合を児童評価85%以上、保護者・地域代表者評価で75%以上にする。（かかわる力）

- ・自分で決めためあてに向かって進んで運動に取り組んでいる児童の割合を90%以上にする。（つくり出す力）
- ・できることが増えたり、記録が伸びたりしたことを実感できる児童の割合を90%以上にする。（分かる・できるを実感する力）
- ・家族と一緒に決めたメディア接触時間を守って生活できる児童の割合を70%以上にする。（やり遂げる力）

社会に開かれた、家庭・地域とともに歩む学校づくり

子どもを見守り、共に活動し、成果（子どもの成長）を共有できる家庭・地域。そして、共に子どもたちの未来を語り合える家庭・地域

- 家庭・地域との連携…学習ボランティア（安全・学習・環境・図書館）による支援の拡大・充実
- 学校評議員、町内会長、民生委員、主任児童委員との連携（学校関係者評価委員会、避難訓練等）、下町地区防犯連絡協議会
- 外部関係機関との連携…市教育委員会、こども課、児童相談所、猿橋中学校区（三校連絡会、すこやかな子どもを育てる会）、児童クラブ、警察署、消防署、人権擁護委員会等